

沖縄地区の第一交通タクシーで「WeChat Pay」を導入

第一交通産業グループでは、沖縄地区の第一交通タクシー（合計 225 台）のうち沖縄市・浦添市に配置する 70 台で、平成30年6月1日から「WeChat Pay」を導入いたします。

既に導入済のタクシー車内「多言語通訳サービス」に加え、「WeChat Pay」を導入することで、今後も増加が見込まれる訪日中国人観光客の個人旅行時に、移動手段としてタクシー利用に繋がるメリットがあります。



「微信支付 (WeChatPay、ウィーチャットペイ)」は、中国国内で実名登録者約 6 億人が毎日利用する巨大 SNS で、QR コード決済を採用しており、中国国内の屋台や店先、タクシーでもレジ付近に掲示した QR コードを顧客のスマホで読み取る手軽さから、比較的少額な代金の決済手段として浸透しています。

今後の導入計画として、沖縄地区全域、北九州地区、広島地区、大分地区、京都地区、北海道地区、大阪地区、東京地区、石川地区を予定しています。

第一交通産業グループでは、平成 24 年 7 月宮城地区 (335 台)、平成 28 年 2 月福岡地区 (453 台)、平成 28 年 3 月首都圏 (666 台)、一部地域 (鹿児島、宮崎、兵庫、長野、群馬、北海道等) で台数を限定して、タクシー車内で銀聯カード (UnionPay) 決済にも対応しています。



参考：福岡地区・首都圏での銀聯カード導入リリース

<http://www.daiichi-koutsu.co.jp/group/gaiyou/data/pdf/h28topics/280129unionpay.pdf>

<http://www.daiichi-koutsu.co.jp/group/gaiyou/data/pdf/h28topics/280301unionpay.pdf>

以 上